

第2回「世界でいちばん富士山がきれいに見える町」

今年もまもなく富士山の日がやってまいります。静岡県と山梨県の両県は、日本の誇る霊峰富士山の豊かな自然、美しい景観を守り、育み、その恵みを後世に引き継いでいくため、富士山憲章を平成10年に制定しました。平成25年には、念願であった富士山とその構成資産がめでたく世界文化遺産に登録されました。

時を同じくして、松崎町では住民有志により平成24年2月23日に「世界でいちばん富士山がきれいに見える町」宣言をしました。これは、駿河湾越しに見える富士山の素晴らしき景観を、松崎の誇りとして、次世代に継承していきたいという思いからでした。

そのイベントがきっかけとなり、富士宮市の市民団体との交流が始まっています。地域間交流は、松崎町のような小さな自治体にとって非常に希望が持てます。これからは、市民レベルの交流から自治体レベルの交流に広がることにより、たくさんの方が松崎町を訪れることが期待されます。今後は、経済や防災についての連携協力へと発展させていきたいと考えております。